

アンケート集計結果

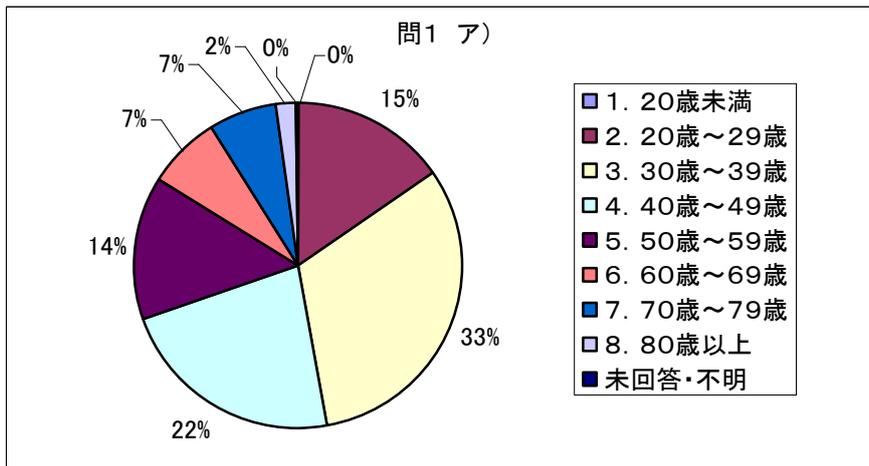
ご協力誠にありがとうございました。

※ 平成20年7月～8月に実施したアンケートの集計結果です。

配布人数：2090人(直接配布及び公民館、事業所、保育園を通じ配布)

回答者数：799人(回答率:38.23%)

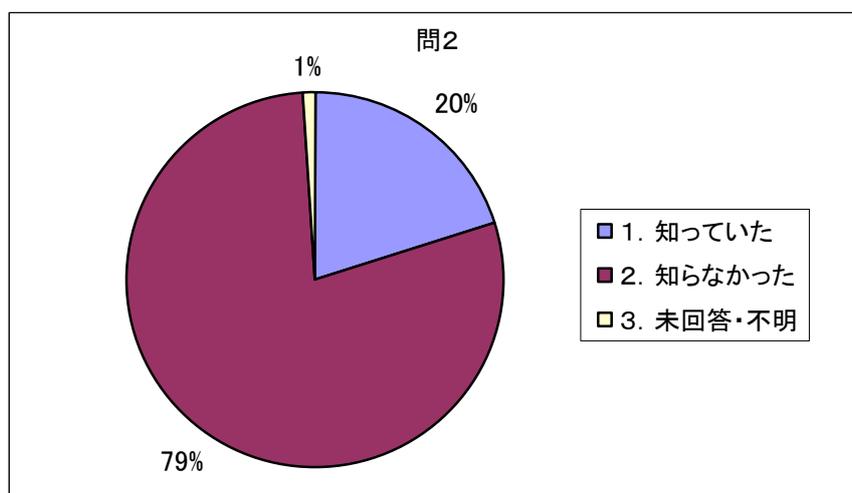
[回答者の年齢構成]



- 住民自治の確立や・「まちづくり」に向けて、更に幅広い年齢層の皆さんからご意見など頂くためにも、アンケート対象者を高齢者の方はもとより高校生や中学生にも広げていくことを検討します。

[須崎市自治基本条例策定計画の周知状況]

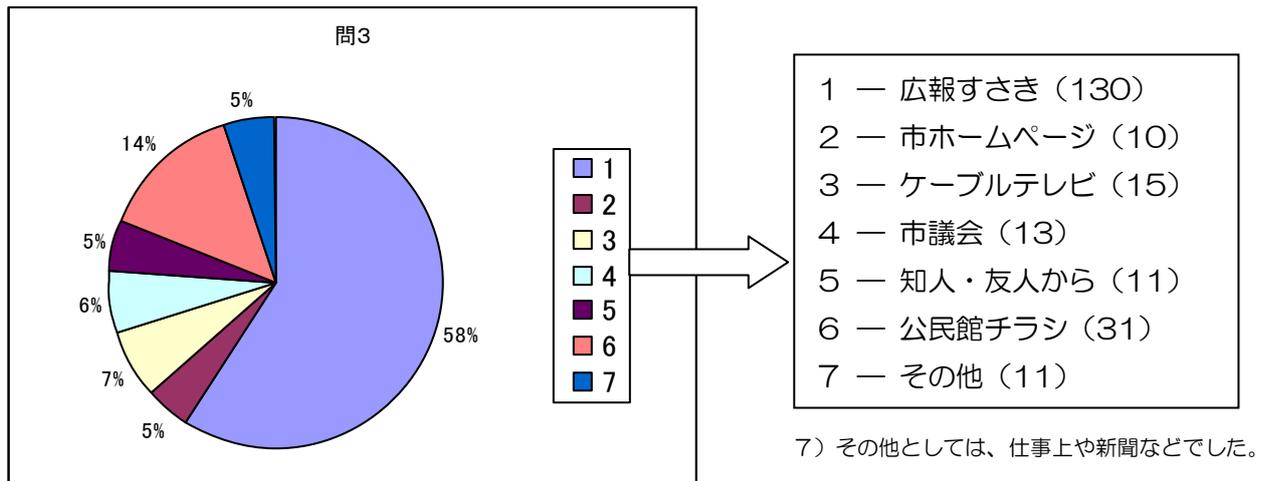
須崎市自治基本条例策定計画を知っていましたかとおたずねしました。



- 自治基本条例の策定計画については、まだまだ市民の皆さんに浸透していない(周知不足)ことが、改めて確認されました。今後も工夫を重ねながら周知を図っていきたいと考えています。

[策定計画を知っていた方の情報源]

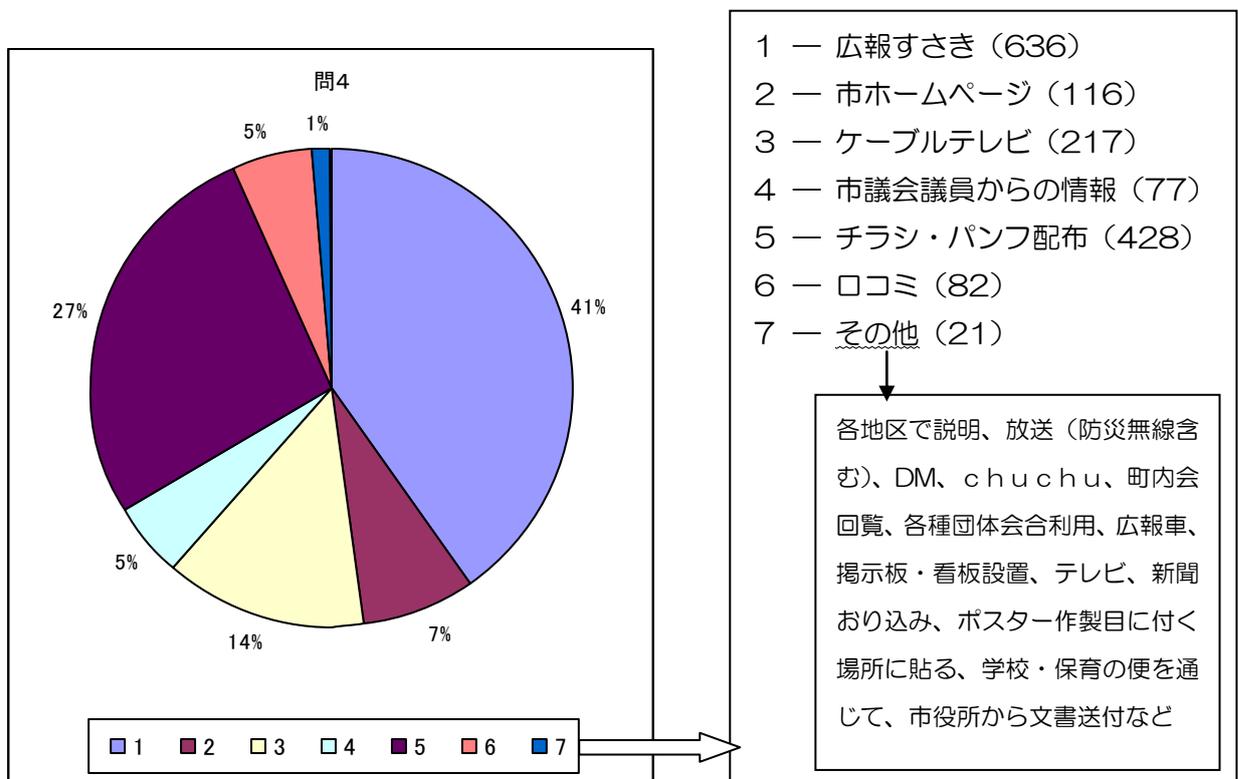
策定計画を知っていた方に、何で知ったかその情報源を複数可で回答していただきました。



■ 情報源としては、「広報すさき」が大半を占めるように、周知を図るには市内全域でほぼ全世帯に配布されている広報誌の活用が、有効な手段の一つと言えます。

[周知方法の有効手段]

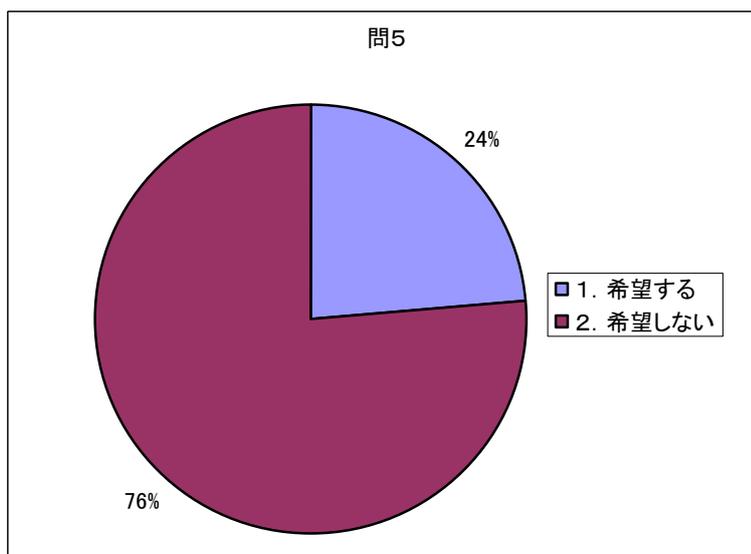
自治基本条例の策定計画を広く市民の皆さんに周知していく方法として有効なものについて回答（複数可）していただきました。



■ 約2割の方が「ホームページ」の利便性や「ケーブルテレビ」のメディア効果に期待しつつも（これらは年齢や地理的条件を含め生活・住環境に左右される要素がある）紙面による方法も併せて回答しており、広報・チラシ・パンフが約7割を占めています。この結果を踏まえ今後の周知に努めます。

[条例策定のための会議への参加意向]

条例策定のための市民会議や各地区単位の会議に参加を希望しますか、とおたずねしました。



- 参加を「希望する」方が24%に上ることから、できるだけ意向に沿えるように会議開催にあたっては、様々な方法で広く参加を呼びかけていくことを検討します。

[意見の反映方法]

会議への参加を希望しない方や都合などにより参加機会のない方のご意見を少しでも多く反映させるための方法をおたずねしました。

回答の多かった順に5つの方法をご紹介します。

実施方法	内具体的な例として主なもの
1. アンケートの実施	各（全）家庭対象に 広報すさきに掲載または広報と同時配布 勤務先やPTAを通じて
2. 聞き取り、インタビューの実施	街頭や様々な場所（公共施設やスーパーなど）に出向いて実施
3. 意見箱の設置	各地域や公共施設、スーパーなどに設置して回収
4. PC、ホームページの活用	意見などを書きこめるようにする
5. 各地区での話合いや説明会で意見集約	公民館単位や更に細分化した町内会・部落会などで行う

[メッセージ欄]

自治基本条例に関するご意見等を76件いただきました。条例制定にご理解いただいている内容から周知不足や条例制定の意義、内容がわかりにくいといった内容のご意見まで、多岐にわたるメッセージありがとうございました。

皆様のご意見をお聞きする貴重な一機会と捉え、今後の参考とさせていただきます。